

(10) 学校図書館だより

図書だよりなどの広報活動

荒川区立尾久八幡中学校図書館 編



実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 中学校全学年・保護者・教職員
2	実施時期 : 通年(4月～3月 月1回以上)
3	概要 : 学校図書館に来る生徒だけでなく、足が遠のいている生徒や教職員、そして保護者にも本の魅力や利用状況を知らせるため、図書だよりを発行し、掲示や展示も行っている。
4	<p>内容</p> <p>① 毎月、前月の利用状況をグラフなどで紹介し、学校図書館への関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス別図書貸出冊数・優秀クラスの紹介 ・冊数別図書貸出人数の紹介 ・分野別貸出冊数の紹介、及び分析 <p>② 毎号、学校図書館や本に関するクイズを出題し、生徒の興味をわかせる。(正解者には、しおり・絵ハガキなどの手作りの賞品を出す。)</p> <p>③ 学校図書館内外の掲示・展示を工夫し、同じ本を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新着図書(読みもの、読みもの以外) ・月別テーマ展示(職員室前・学校図書館前の2ヶ所を毎月更新する。) ・ミニコーナー(ほぼ毎週、時事テーマを決め、5冊程度を紹介する。特別支援学級では、ブックトークも実施している。)
5	<p>参加者の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布後すぐに、学校図書館クイズの解答を持って生徒が来館するようになった。 ・「図書館だよりに載っていた〇〇の本」と、探しに来る生徒が増加した。 ・保護者や教職員の方と、利用状況について話すことが徐々に増えてきた。 ・前月のクラスの結果を見て、「もっと貸出冊数を増やしたい」と借りていく生徒もいる。
6	<p>連携した諸機関</p> <p>荒川区立小・中学校 荒川区教育委員会学校図書館支援室 学校図書館の研究大会、研修会</p>

